



みなさんの大きなご支援で議会へ送りだしていただいて始まった議会活動は1年間が過ぎました。初めての事ばかりでとまどいもありましたが、多くのみなさんの「がんばれ！」の声に支えられました。

議会では、中学校給食・通学定期問題をはじめ精神障がい者の医療助成や乳幼児医療費無料化、ごみの有料化など、市民の命と健康・生活に密接に係わる問題に、みなさんと共に取り組むことができました。他会派の議員の参加も呼びかけ、引き続き取り組んでいきます。たくさんのお名前や、率直なご意見をいただきました。ありがとうございました。

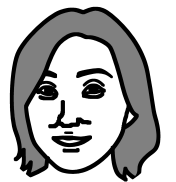
2年めを迎え、勉強を重ねながら、みなさんと共に市民の生活を守るため、頑張ります。これからもご支援、よろしくお願致します。

## 三原のQ 妊婦健診補助の増大を！ 実現しました

- 妊婦健診費用は1回6千円～1万円。
- 妊娠初期や後期には、ひと月に2・3回の受診もあり、家計への負担が大きい。
- 高負担のため、妊娠に気付いても受診しなかったり、回数を減らしたりということがおきている。

2回から5回に増やすことができました。しかし国は「14回が望ましい」としていますので、引き続き補助回数増を求めています。

また、里帰り出産や、産婦人科の減少でお産の受け入れを求めて、県外で受診することがありますが、県外受診の際は、公費負担が適用されていません。県外受診も公費負担が適用されるよう求めています。



名張市のA 妊婦健診補助2回をH20年4月より5回にする

## 三原のQ 乳幼児医療費無料化の年齢拡大について

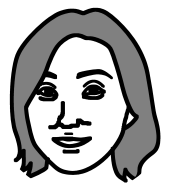
- 現在名張市では4才未満まで無料だが所得制限がある。
- 全国で乳幼児医療費無料化の年齢拡大と窓口無料化が進んで、就学前までや、東京では中学校まで無料という所もある。
- 国で制度を作っていないので自治体によって差があり、子育てに重点を置いた市町村では、無料化が進んでいる。
- 一部負担は無料化にならない。



9月議会の前に、保育所前や街頭でみなさんにご協力頂いた署名と要望書を持って、子育て中のお母さんと共に、子育ての現状を話し「一刻もはやい無料化を」と市交渉し、一般質問でこの事を訴えました。

市はH20年9月、県の動向に併せて拡大の予定ですが、県では就学前まで一揆に引き上げるのではなく、段階的引き上げや受診の際に支払う一部負担金を考えています。段階的引き上げでは、制度変更のための手間と経費がかかり、一部負担では無料化になりません。

四日市市では今年9月から、就学前まで無料化しており、一部負担も実施しておらずこの一部負担金制度に断固反対しています。名張市も県に対してすみやかな拡大を要求するように、そして、県が段階的引き上げとなっても、名張市はいつきに引き上げるよう市長に求めました。



名張市のA 三原議員の意見として聞きおく来年の県の見直しをまって、段階的に引き上げる

## 国民健康保険税の減免や軽減について

- 減免制度は、自然災害・火災にあったとき、リストラ・倒産などで所得が無かったり、急速に落ちた場合、拘置者・障害者・母子家庭・非課税世帯が対象になります。(実際100%はあまり無く、減免になっています。拘置者は100%減免です)

- 軽減は所得に応じて、7割・5割・2割の三種類があります。
- 今まで、7割・5割の軽減は申請無しでされていましたが、2割は申請が必要でした。
- H20年度から2割軽減も、7割・5割と同じように、所得の申告で自動的に軽減されます。

